

もう一点はロータリーの意識はどうかという事で「愛情」の反対の言葉は一般的には憎悪、怨とか言われているが自分は「無感心」であると思う。無感心は心の動きがまったく無い、憎悪でも怨でも心の動きが有り愛情に変わる事がある。無感心は良い方には変化しない、近頃世の中でいろんなこまった問題がたくさんおきてきています。それは人の考え方がまわりの人、地域の事、自分の他に対して感心がうすいのではないかと心配であるとし、ロータリーから感心を深め、好意と友情を広め「ロータリーの心を」示しめして、世の中を良くしていかなければと……心が洗われて帰って来ました。

会員増強 大野新吉

去る10月26日（日）坂本会員の代理として急処出席要請ありまして出席させていただきました。当日の午前6時20分市役所前に集合、例年ですと3クラブ同乗のバスにて会場に向かいますが今年は南クラブは別行動という事で三条クラブと我がクラブの2クラブで越後交通の2階建バスの特別仕様車？で定刻10分遅れの6時40分出発、冷い雨の降りしきる三条を後にして出発しました。同乗当クラブ会員は落合さん、小林さん、布川さん、山本さん、佐藤（啓）さん、佐藤（文）さん、梨木さん、丸山さんと私の9名。

今回の地区大会に出席しての発表依頼は4名でしたので私が勝手にお願いして分担して発表させていただく段取りとさせていただきます。失礼をお許し下さい。まず私は出発から会場の伊勢崎文化会館到着までの道中記とあいなりましてペンを進めてまいります。

先にも記しました様に今回は豪華2階建バスで全員2階に乗り込みました。出発後の15分位には高速道路にも入り順調に一路、伊勢崎に向かって走行、車内では雑談する人、朝早い出発の為居眠りする人、又バスの1階のサロンでは美形のスチュアーデスさんのサービスで熱いモーニングコーヒーを、冷い水割を楽しむ会員、和気相合いの中で我が会員も早速三条クラブ会員と混って親睦を深めていました。8名位が定員のサロン。1人が長時間居座ると後の人が利用出来ませんので順次交替され楽しんでおられましたが、中には誰とは申しませんが先から仕舞までサロンに居合わせた会員とスチュアーデスさんとの親睦を深められた会員のお陰で途中、米山インタートイレタイムを除いた他は車内でのトイレ利用で到着予定時刻の9時30分に越後の鉛色の空とはうって違って秋冬の抜ける様な青空で御天道様のまぶしい米山会長、吉川幹事の待つ伊勢崎文化会館に到着しました。

例年冬になると日本海側、太平洋側の天候のハンデキャップを身を感じながら自分の出生の運命に感謝？しながらホストクラブ会員及び夫人の拍手の歓迎の会場の雑踏の中に消えました。

記念講演 国際奉仕委員長 佐藤啓策

「国際社会と日本—21世紀の日本を考える」渡部昇一氏

今の時代と似ている時代は万延元年3月3日に江戸城の桜田門外で井伊大老が僅か17名の浪士に殺害された時と同じだ。それは象徴的な物が変わったのだ。当時は武の時代でその象徴は大名であった。大名は絶対的な権限を持っていた。そしてその大名さえも取潰すことのできた将軍、その幕府をそれまで倒すなどという事は誰もできないと思っていた。しかし、それから7年後に明治天皇が江戸城に入った。

中央官庁は大名のようなものだ。そして大蔵省は各省の上にあって幕府のようなものだ。①徴税を行う②予算を配る、この権限を一手に握っている。

住専の6800億円は大蔵省の案でそのまま決った。それは住専が農林関係から借りていた。そしてそこには大蔵省から天下りしていたから救ったのだ。

しかし、今はノンバンクが危い。銀行が危い。そして大蔵省分割案が出てきた。税務機関を切り放せという話になってきた。

最近大蔵省の天下りが2代続いた銀行が潰れた。その銀行は3ヶ月前に黒字決算をしていた所だ。ということは天下りをしてきた人は何もしていないのに、助けられなかったことになる。

大蔵省を批判すると即、税務調査がくる。延々と2ヶ月も嫌がらせである。

しかし、大蔵省は今ビッグバンに熱心である。それは

①天下り先がなくなった

②潰れる銀行が早く潰れないと、自分達の手が後に廻ってしまうから。権限を手離さないと責任がついてくる。

日本の製造業は無類の競争力を持っている。貿易収支は10兆円の黒字である。米国は10~20兆円の赤字である。差し引き30兆円の差である。しかし、米国は景気が良く、日本はおかしい。これは大蔵省の総量規制が原因である。1,000~2,000兆円日本を弱めた。超優良企業の三菱地所がロックフェラーセンターを手離した。

金融では数年前迄、世界の1~10位に日本の銀行が7行あったのだ。現在はゼロである。A B C D ランクに分けて日本の銀行はBが1つで他は全部C以下である。

世界一の貯金国が日本であり、世界中で新しく預金される半分の額が日本である。

商品相場は大阪の米相場が世界一早い。英国のマンチェスターの綿より70年も前である。又戦前に於てもシカゴの商品相場は日本人が動かしていた。

これからの日本はどうしたら良いか。ユダヤ化に成っていくだろう。（国境の壁が低くなるだろうから）それには次の3つが重要だ。

①自分の能力を身につける。

ノウハウ、金融、音楽、学者、宝石商、古本（10万~億単位）

②契約の重視

500年前にシェークスピアがベニスの商人の中で、期日迄に金を返さいと胸の肉を1ポンド切り取る約束で金を貸せたところ、借主が期日に運の悪い事が起きて、返せなくなった。そして、貸主が借主の胸の肉をそぎ取ろうとした為、借主が裁判官に救いを求めた。裁判官は「肉は切り取っても良い、但し血を流しても良いと契約書には書いてない」と言うことで契約書の隙きをつめる重要性をユダヤ人は認識している。そして、それはアメリカに行って花が開いた。

遺言書を作る時、公証人を立合せてもダメ、彼らは裁判官上りで隙きだらけだ。

③私有財産を増やさなかったらバカだ。

世界のデラーの8割がアングロサクソンだ。その大半がユダヤだ。彼らは支店長より高い給料をもらっていて、個人の大金持に電話をしている。情報は個人のルートを通じて走る。個人の金持が多い国が栄える。

大金持を作る為の税制改革が必要だ。ハイク先生という方が所得税は1割均等で良いといったが、良く調べて見るとそれで良いのだ。実際8%均一で良いが、どうしても徴収できないような方もいられるので10%の方が良い。私も税制調査会の委員に成った事があったので「累進税率は